

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H23単独災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務グループ	課長名	森田 一
施策名	(07)道路網の整備	担当者名	井上芳樹	電話番号(内線)	0854-40-1063 3739
基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 515 110 110 013	公共土木施設災害復旧事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(23年度~24年度)	公共災害復旧事業は、市管理の河川、道路が特定の雨などにより被災を受けた場合、復旧するものであり、過年度災害は対象とならない。制度として国の補助を受けて行う事業、市の単費で行う事業がある。災害復旧の基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。また、単独対象は事業費が60万円以下である。	平成23年9月豪雨災害 単独箇所 河川-2箇所 道路-14箇所

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
河川災害 2箇所 1,040千円 道路災害 11箇所 4,017千円 合計 13箇所 5,057千円	事業費			5,000	1,200		6,200
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他			57	18		75
	一般財源						
	事業費計(A)	0	0	5,057	1,218	0	6,275
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数			4	4		
災害集計・報告・測量・設計・査定設計書作成・査定準備・査定・図面修正・実施設計・工事発注・監督・完成検査・支払	延べ業務時間			120	30		
	人件費計(B)	0	0	473	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	0	0	5,530	1,218	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	工事発注・監督 16箇所(内3箇所繰越)	⑤ 活動指標				16			
② 24年度計画(24年度に計画している主な活動)	繰越箇所監督・精算 3箇所	ア	箇所						
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市民	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア	人			41159	41032		
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。	⑦ 成果指標							
		ア	箇所			13	3		
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	⑧ 上位成果指標							
		ア	%			55.7	55.9		
		イ	%			55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・変化なし	・測量について、課員だけでは、対応できないので、各総合センターの協力を得て対応した。災害査定は、県でヒアリングを受け、国へは県が対応いただいた。	・生活に直結する市道、河川護岸(道路及び田の畦兼用)の災害については、いつも早急な復旧が望まれる。

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H23単独 災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	--------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 被災箇所を現計復旧するため。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市民から災害箇所の早期の復旧要望がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 利用者に対しての利便性確保に寄与しており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事魚内容が、公共土木施設災害復旧事業(事業費600千円未満)に限定されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 道路河川の復旧ができず利用者の利便性、安全性の確保ができない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 事魚内容が、公共土木施設災害復旧事業(事業費600千円未満)に限定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国の査定を受け決定される事業であり、査定で安全性はもちろん工法に対して事業費比較も行われるので、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 被災から査定までの期間(2ヶ月)が短く(早急に復旧する必要有)時間外勤務が多くなる。削減のためには原形復旧が原則であり、道路改良などは設計の考え方が異なるため災害に精通した経験者、専門職が必要である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市管理の道路、河川であり住民負担はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・本災害の査定が完了し、発注業務が概ね完了した時点で、各総合センターの要望を確認して、単独災害の対応を考えるため、対応が遅れる。本災害と併行して対応できれば良いが、その体制になっていない。 ・今後の早期完了を目指すうえで、体制の検討が必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
大災害の場合は、災害に精通した人員の確保ができれば時間短縮は可能。また、査定時に、維持管理不足(側溝埋塞等)により発生した災害については、採択しないとの指導が厳しくなっており、パトロール実施による維持管理が、今まで以上に必要となっている。																							